

何かに対する強い憧れと今の自分よりも更に先へ一歩踏み出すための動機、喜びと悲しみ、深い孤独。「恋」という文字から思い浮かぶ言葉は数知れません。

今日演奏させて頂く曲の数々は、私たちがそれぞれに恋をした作品です。作曲家のお話も重ね合わせながらのプログラム、どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

プログラム

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| チェロソナタ ホ長調より第1,2楽章 | フランクール(1698 -1787) |
| ソルフェージュ | C.P.E.バッハ(1714 -1788) |
| 創作主題による32の変奏曲 ハ短調 WoO.80 | ベートーヴェン(1770 -1827) |
| 序奏と華麗なるポロネーズ op.3 | ショパン(1810 -1849) |
| ～ 休憩 ～ | |
| スペインのセレナーデ | グズノフ(1865-1936) |
| 愛の夢 第3番 | リスト(1811-1886) |
| ラ.カンパネラ | リスト(1811-1886) |
| チェロソナタ 第1番 ニ長調 op.12 | ミヤコフスキー(1881-1950) |

原 香恋 (チェロ)

長野県中野市出身。3歳よりチェロ指導者の父・長瀬冬嵐のてほごきによりチェロを始める。

チェロを河野文昭氏に師事。

京都市立芸術大学音楽科に入学後は上村昇氏のもとでソロ、室内楽、オーケストラ等の研鑽を積む。同大学在学中に2年間シドニーへ留学しロシア人チェリストのM・ゴルバルトフ氏に師事。帰国後、同大学を卒業し様々な演奏活動をを行う。

2009年より2年半スズキメソッドのチェロ指導者としてマルボロンにおいて指導にあたる。

2011年1月に帰国後は、才能教育研究会(スズキメソッド)のチェロ指導者として後進の指導にあたりると同時に演奏活動を行っている。秋田県大仙市大曲新人音楽祭コンクール入選、万里の長城杯コンクール入賞、九州音楽コンクール弦楽部門金賞、熊楠の里音楽コンクール第3位受賞等。

武井 純子 (ピアノ)

桐朋学園子供のための音楽教室に在籍中、全日本学生コンクール長野県大会3位入賞。

宇都宮短期大学音楽学部卒業。同大学卒業演奏会出演。

2002,03,06年 草津夏期国際音楽祭マスタークラス受講。音楽祭内の演奏会(選抜)に出演。

長野にて10年程の後進の指導の後ドイツ留学。カールスルーエ国立音楽大学ピアノ専攻にてウーデ教授、シュタング教授に師事。在学中にソロ、リト伴奏として多数コンサート出演。ソロでリサイタルを開く。ドイツ滞在中、ピアノとして幅広く活躍するケルン大学教授シビリ氏に師事する。

又これまでにピアノを夏目芳徳、杉山とみえ、武田洋、斉藤ゆり各氏に師事。2010年北信越ピアノオーデインション Virtuose 部門グランプリ併せて長野県知事賞(大賞)受賞。現在は演奏活動と後進指導に取り組む。

(HP <http://junkopiano.main.jp/>)